

けあとも

発行 株式会社
ケアサービスとも
平成 30 年 6 月

有限会社での訪問介護事業



ケアサービスとも有限会社の訪問介護事業では主なご利用者は足立区千住地域を中心に10名程度のご利用者でのスタートでした。

海老根久美子が元々千住地区でケアマネージャーをしていた関係でその当時のご利用者をもそのまま有限会社のケアマネとして引き受け、訪問介護のご利用者となったということです。

病院勤務時代の患者様や知人関係で徐々にご利用者の輪も広がり、同時にご利用の訪問地域も千住から橋を渡って足立町から梅田、更に日光街道に沿って北に広がり、花畑地域まで広がってきました。

中心は千住地域にあったので、毎日の訪問コースも、千住から足立町に、そこから千住に戻りまた梅田に訪問し、また千住に戻るような訪

問コースが普通にあり、ヘルパーさんからは2回も3回も千住新橋の坂を上って、下りるのは大変、という声が上がっていました。

そうした中で千住のご利用者様の一人でHさんとおっしゃる方がいらつしやいました。

息子さんたちは区内に別の家を持っていらつしやって、お母さんが一人で千住龍田町に住んでいらつしやって、そこに訪問介護で入っていました。次第に重度になり日中は独居でほぼ寝たきりのところへ3回の訪問をしていました。食事介助も抱きかかえるようにしてやっていたことを思い出します。

体調が急変してご家族の希望で入院してそのまま病院で亡くなられたのですが、息子さんたちが必要ならばその「家一軒丸ごと貸してもいい」とおっしゃるのを受けて、足立区千住龍田町に訪問介護事務所を移すことにしました。その際にそれまで有限会社で訪問介護とケアマネ事業をやっていたものを、訪問介護だけ別会社にして「株式会社ケアサービスとも」という法人を立ち上げ、そこで訪問介護事業をすることにしました。ケアマネ事業は有限会社、訪問介護は株式会社という形になりました。株式会社ケアサービスとも登記上の所在地は足立区千住龍田町になっており、その後足立区南花畑に移転することになり、現在に至っています。



GOODJOB賞

山下スーザンさん・平野尚志さん

5月18日付でグループホームとも管理者の村井さんから、職員の山下スーザンさんの推薦がありました。

内容は下肢関節拘縮が強くて膝が伸ばしずらく、車椅子で座位を取るのが困難なご利用者への対応について、三角クッションの活用を工夫して車椅子上で安定した座位が取れるようになり、ベッドからの離床時間が長くなり、QOLの向上につながったという取り組みに対しての推薦でした。

寝たきりではなく、どうしたら少しでも長く車椅子であっても離床して、ホールでの時間を長く過ごせるかという課題検討の中から生まれたアイデアはそのご利用者に対する強い思いから生まれるものであり、山下さんの今回の工夫は大変素晴らしいものです。一人一人のご利用者を大切に、どうしたらよりよく過ごせるかということを常に考えて出てきた結果であると思います。会社としてもこうした工夫を積極的に進めていき

たいと考えています。

今回同じグループホームから平野尚志さんへの推薦もありました。

内容はご利用者の食事に関してムース食を取り入れるための工夫を、失敗を乗り越えてご利用者からも信任いただけるところまで完成させて、調理センターと連携しながら、他のご利用者への提供迄進める事が出来るようになったきっかけを作ってくれたというものです。

こうした日常の業務の中で、目の前にいらっしやるご利用者に対してどうしたらより良く過ごしていただけるかという工夫は会社を挙げて歓迎しますので、小さな取り組み、工夫でもみんなと考えていけば、きっとより良いものになっていくものと思います。

そのほかに、訪問介護ではサービス提供責任者として頑張っている堀井重克さんと佐藤典子さんに推薦がありました。さらに良さんの家谷口由美子さん・宮田麻衣子さん、在宅医療ケアともの大橋小百合さんにも送りました。

各事業所からの推薦を歓迎しますのでどんどん送ってください。用紙は各事業所にあります。



介護福祉士合格祝賀会開催

5月25日介護福祉士とケアマネの合格祝賀会があり、良さんの家の青木さんと三反崎さん、グループホームの吉田さん及び訪問介護の大平さんの4名とケアマネ試験は看護師の川原さんが合格しました。その中で最年少で訪問介護の大平君、最年長で良さんの家三反崎さん、それぞれの声を聴いてみました。大平君は学校卒業時から社会に役立つ仕事をしたいと考えていたそうです。その中でも介護の仕事は高齢者の方と直接かわることが出来る点で興味を持ったと語っています。介護福祉士の資格取得もそのために必要な事と思い受験しました。試験準備も自分で納得できるところまでやったので、自信を持って試験に臨むことが出来ましたと言っていました。

また、今回最年長で合格した良さんの家の三反崎さんは「これまでの生活で国家試験というものは受けたことが無かったので今回挑戦して合格したことを大変うれしく思っている」と語っていました。受験勉強も主婦として台所に立

ちながら過去問題をやったり工夫して勉強をしたそうです。今後も会社としても受験希望者への支援を続けていく予定です。

新人紹介

前月号で紹介した今年新卒で入社した良さんの家の金内さんは、学校卒業時にすでに介護の仕事をしようにと考えていたそうです。高齢者の方と会話をするのも好きだったそうです。そんな金内さんに聞いてみました。6月初めに介護職員初任者研修も終わり、「日々の業務は初めての事ばかりですが、周りの職員さんにやさしく教えてもらいながら頑張っています」とのことです。

現場での業務と初任者研修で学ぶことのギャップを感じることもあるそうです。将来介護福祉士を目指すというような目標は今では考える余裕がなく、毎日の業務に一生けん命取り組んでいるとのことです。



編集後記

今月はGOODJOB賞の推薦が多くて、ともに便りに載せきれないので別紙で特集号を出すことにしました。